

幼稚園だより

7 月 号

令和6年 6月28日

荒川区立花の木幼稚園

園長 竹下 佳余

成長の喜び

園長 竹下 佳余

例年より遅い梅雨入りで、空の主役は、まだまだ太陽というわけにはいきませんが、気温が高くなり着実に夏が近付いています。園では、子供たちが心待ちにしていたプール開きを終え、水遊びの気持ちよさを味わうことができる季節となりました。

園庭の草花や野菜たちは、毎日のお世話の甲斐あって、すくすくと育ち、ミニトマトは、もう赤い実をつけています。子供たちもきつと、その生長ぶりに目を輝かせ、今後どのように変化していくのだろうと、ワクワクしながら植物を見守っていることでしょう。

さて、先日は、土曜参観に足を運んでいただきありがとうございました。長時間の活動を参観いただいたので、普段の子供たちの様子を見ていただけたと思います。ひよこ組さんは、友達との関りが増えてきた一方、自分の思いと相手の思いがぶつかることも増えてきました。時にコミュニケーションがうまくいかず涙することも。でも、これは成長の過程でとても大切なことです。今は、周りの大人が調整役になって涙の意味が互いに伝わるようにしていますが、いずれ、思いを言葉にして伝え合うことができるようになります。そのために、行き違いがあったときは、双方の気持ちに立って考えさせ、解決策へと踏み込む勇気を養うように支援しています。

こあら組さんは、1日のスケジュールをよく聞いて、次の活動への切り替えも上手になってきました。水筒を忘れた友達にそっと手渡す姿に、“さすが！”と叫びたい思いでした。いるか組さんは、先日尾久幼稚園のお友達と交流し、たくさんのお楽しみをしました。ドッジビーでは、独り占めはせずみんながディスクを投げられるように工夫していたチームが勝利しました。また、転んでしまった園児に、後で、“今は大丈夫？”とたずねると、“うん、さっきは泣いちゃったけどね”と明るい声が返ってきました。涙の意味についてもう自分できちんと解釈ができていているのだと、成長の喜びを強く感じました。

さあ、夏休みまであと少しです。今月も、心身共にたくましい成長に向け保育活動を工夫してまいります。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

今月の保育のねらい

《3歳児：ひよこ組》

- ・教師や友達と関わりながら、好きな遊びを楽しむ。
- ・水遊びを通して水に親しみ、心地よさを味わう。

《4歳児：こあら組》

- ・友達との関わりを楽しみながら、いろいろなことに興味をもって遊ぶ。
- ・プール遊びに喜んで参加し、水に親しんだり、心地よさを味わったりする。

《5歳児：いるか組》

- ・友達とのつながりを深め、思いや考えを伝えながら、遊びや活動を進める。
- ・プール遊びをする中で、水に触れる心地よさを感じたり、自分なりに挑戦したりする。

